



DIGITAL NURSINGGRAPHICUS

デジタルナーシング・
グラフィカ

通信

Vol. 56

映像教材をつくってみよう！（準備編）

動きのある教材は、学生の注意を引き、理解の促進につながります。
今回は、動きのある教材のなかでも映像教材、とくに実写映像を利用した教材の作り方
について紹介します。

必要物品

①ビデオカメラもしくはスマートフォン、タブレット

映像を録画するためのメインの機材です。ある程度距離がある場所から大きく
撮りたい場合にはビデオカメラ、近くから撮影できる場合にはスマートフォンや
タブレットが利用できます。



②三脚

手ぶれ補正機能などもありますが、見やすい映像を撮る場合には三脚を利用し
た方が確実です。スマートフォンやタブレットの場合にはホルダーを使ってから
三脚に固定します。



③通信ケーブル

録画したデータをパソコンに転送する場合に必要になります。

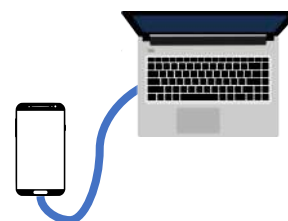


④外付けマイク

クリアな音を録る場合には必須です。最近ではUSB-C接続ができるワイヤレスマ
イクもありますのでスマートフォンなどとの接続が簡便です。

パソコンへの映像データ転送

ビデオカメラの電源を入れた状態で再生モードにしてパソコンと接続すると、パソ
コン側に新しいドライブが増えます（カメラ側で許可が必要な場合もあります）。
スマートフォンなども同様で、接続するとパソコンからデータ領域を確認するこ
とができるようになりますので、該当のデータを探し、パソコンの任意の場所にコピーし
ます（ビデオカメラでは拡張子MTSのデータ、スマートフォンなどでは拡張子MP4の
データです）。



動画素材の確認

パソコン上にコピーした動画（動画素材）の内容を確認します。ビデオカメラやスマー
トフォン上で確認できていても、パソコンにコピーした段階でファイルが破損する場
合もありますので、パソコン上での確認は重要です。Windowsでは「メディアプレーヤー」
や「Windows Media Player」で再生することができます。



第2弾「動画編集ソフトの使い方編（仮）」も別途配信予定ですので、合わせてご覧ください。

お問
い合
わせ

MC 株式会社 **メディカ出版** 基礎教育営業課
〒532-8588 大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル16F

デジタルナーシング・グラフィカに
関するお問い合わせはこちら⇒

